

地方公共団体名	愛知県田原市
所属部局 担当者名	農林水産部 農政課 担当：課長補佐 永田 敬一
地域の抱える 課題	<p><b>【環境・脱炭素に関する課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業は本市の基幹産業であり、農業産出額は 848 億 9 千万円（2021 年農業産出額は全国 2 位）である。中でも花き類等の生産に係る施設園芸は、本市の農業の約 40% を占めており、全国でも有数の施設園芸の産地となっている。</li> <li>・施設園芸農家は、作物の生育促進、収益性の向上を図るため、加温用のヒートポンプや暖房機等の導入が必要不可欠となっているが、肥料や農薬などの農業資材、燃油価格、電気料金等の高騰などにより厳しい経営環境が続いている。</li> </ul> <p>《課題①》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二酸化炭素を多く発生させる従来型の重油を燃料とする暖房機器から、環境負荷の少ない新たな暖房機器等への転換については、実証が十分に得られていないことや設備費用が高額等の理由から進んでいない。</li> </ul> <p>《課題②》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重油を燃料とする従来型の暖房機器からは、燃焼の際に多くの二酸化炭素を排出しているが、ほとんどの施設園芸農家では排出される二酸化炭素を有効活用できていない。</li> </ul> <p>※施設園芸においては、二酸化炭素発生装置により、生育に必要な二酸化炭素の必要量を賄うことが一般的となっているため、暖房機器から発生する二酸化炭素についての活用が進んでいない。</p>

	<p><b>【同時解決したい地域の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業分野での脱炭素施策を推進するなかで、施設園芸において、温度や湿度、二酸化炭素濃度などの施設内環境の制御や水分や施肥を制御する設備等のスマート農業導入や農業DXを進めることにより、地域の課題となっている農業者の高齢化や労働力、後継者不足等の解決にもつなげていきたい。</li> </ul>
地域のありたい未来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTやAIを活用したスマート農業の確立と脱炭素農業の推進による、持続可能な日本一の農業産地の実現</li> </ul>
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設園芸への環境負荷の少ない新たな暖房機器の導入、燃焼効率を高める実証実験の実施と、効果の検証、施設園芸農家へのデータ提供</li> <li>・従来型の暖房機器から発生する二酸化炭素を有効活用する実証実験の実施と、効果の検証、施設園芸農家へのデータ提供</li> </ul>
企業に求めたい内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化石燃料由来の暖房機器に頼らない、燃焼効率が高く、環境負荷の少ない暖房機等の技術開発及び実証実験への協力</li> <li>・従来型の暖房機から発生する二酸化炭素を有効活用する技術や安価な設備等の開発及び実証実験への協力</li> </ul>